

ソグドからウイグルへ



[ソグドからウイグルへ 下载链接1](#)

著者:森安孝夫 (編集)

出版者:汲古書院

出版时间:2011

装帧:精装

isbn:9784762929663

前近代ユーラシア史を動かしてきた大きな原動力として、スキタイ・匈奴からモンゴルに至るまでの騎馬遊牧民（遊牧騎馬民族）と、ユーラシアの大動脈とも言うべきシルクロードを支えてきた多種多様な人々とが挙げられる。彼らが活躍した舞台は、これまで一般には東の大興安嶺周辺部（満洲西部を含む）から西のハンガリーまでのユーラシア中央部を東西に貫く大草原地帯及びその南側に連なる沙漠オアシス地帯と考えられてきたが、最近の学界ではさらにその南側にある農牧接壤地帯（農業=遊牧境界地帯，農業=遊牧交雑地帯，半農半遊牧地帯），すなわち農業のための可耕地と遊牧・放牧のための草原とが入り組み、どちらにも利用できる広大な土地までも含める

ようになってきている。我々はこれらをひとまとめにして「中央ユーラシア（地域世界，文明圏）」と呼ぶことにする。それと並立する区分としては，東アジア・東南アジア・南アジア・西アジア・地中海・ヨーロッパ（諸地域世界，諸文明圏）などがある。この中央ユーラシアを通るシルクロードとは，紀元前二千年紀には姿を現す「草原の道」と「オアシスの道」だけを指すのではなく，農牧接壌地帯を越えて大農耕文明圏（特に東アジア・南アジア・西アジア・地中海周辺）の北辺部にまで延びており，多くの支線と合わせると細かい網の目状になっている。すなわちシルクロードとは東西をつなぐ線ではなく，東西南北に広がるネットワークなのである。我々はシルクロードという雅称を，そのようなネットワークないしそれを包摂する領域名として，しかもシルクロードが世界史上にきわめて重要な意義を持った前近代に限定して用いることにする。本書の副題にあるシルクロード東部とは，およそパミール以東で，しかも前近代における中央ユーラシアの東半分のことであるが，場合によって北中国の農牧接壌地帯の南に位置する長安・洛陽・開封などの大都市部も含めるので，それほど厳密なものではないことをお断りしておきたい。

本書は，編著者である森安が代表となった研究プロジェクト「シルクロード東部地域における貿易と文化交流の諸相」〔平成17～20年度科学研究費補助金，基盤研究（A）（一般）〕によって得られた成果のうち，主にソグド・ウイグル両民族ならびにソグド系トルコ民族に関わる研究論文と，彼らが活躍する舞台となったシルクロード東部地域の現地調査記録とをまとめたものである。論文篇の多くは，ソグドやウイグル，あるいはソグド系トルコ民族が，シルクロード東部地域においてどのような政治的活動を行なったか，あるいは彼ら相互の間や漢民族をはじめとする異民族との間でどのような経済的・文化的交流を持ったのかを追究したものである。…石附玲・田中峰人の両名は，本プロジェクトの正式メンバーではなかったが，森安の指導のもとにウイグル民族史の観点から注目すべき論文を完成させたため，特に本書に収めている。

第1部「ソグド篇」はシルクロード東部に進出したソグド人とソグド系トルコ民族（特にソグド系突厥）に関する論文，第2部「ウイグル篇」はイスラム化以前のウイグル民族に関する論文を収載している。第3部「行動記録篇」は，これらの地域すなわちシルクロード東部の地理的景観や史跡調査の記録を簡略化してまとめたものである。本書に収載された諸論文の多くは，従来の枠組みのように中国史・北アジア史・中央アジア史のいずれかに分類されるものではなく，それら全てにまたがるものであり，いわば「シルクロード史学」に関わるものなのである。「シルクロード東部の民族と文化の交流」という副題をつけた本書に含まれる諸論文は，いずれも歴史的事実の発見という知的興奮を呼び覚ますだけでなく，国内外における新しい学界動向を加速させるものであると確信している。

作者紹介:

目録: 【内容目次】

序文	森安孝夫
第1部：ソグド篇	
日本におけるシルクロード上のソグド人研究の回顧と近年の動向（増補版）	
…森安孝夫	
唐代天山東部州府の典とソグド人	
……………	荒川正晴
西安出土北周「史君墓誌」漢文部分訳注・考察	
……………	石見清裕
附論：西安出土北周「史君墓誌」ソグド語部分訳注	吉田 豊
北朝時代後期における長安政権とソグド人	
——西安出土「北周・康業墓誌」の考察——	山下将司

「安元寿墓誌」（唐・光宅元年）訳注……………福島 恵
増補： 7～8世紀の北アジア世界と安史の乱……………森部
豊
唐の内陸アジア系移住民対象規定とその変遷……………
石見清裕
第2部： ウイグル篇
唐前半期の農牧接壤地帯におけるウイグル民族
——東ウイグル可汗国前史——……………石附 玲
甘州ウイグル政権の左右翼体制
……………田中峰人
古ウイグル語仏典奥書
——その起源と発展——……………笠井幸代
シルクロード東部出土古ウイグル手紙文書の書式（後編）
……………森安孝夫
第3部： 行動記録篇
はしがき
2005年度 山西北部・オルドス・寧夏・西安調査 行動記録
2006年度 内モンゴル・寧夏・陝西・甘粛調査 行動記録
2007年度 東部天山～敦煌調査 行動記録
2007年度 山西調査 行動記録
2007年度 オルドス・内モンゴル調査 行動記録
2008年度 山西・内モンゴル調査 行動記録

地図1 シルクロード東部のソグド・ウイグル関連地名
地図2 2005年度調査行程図
地図3 2006年度調査行程図
地図4 2007年度調査行程図（その1）
地図5 2007年度調査行程図（その2）
地図6 2008年度調査行程図
・ ・ ・ ・ ・ [\(收起\)](#)

民族学

出土文书

中国研究

评论

森安孝夫对日本学界粟特人研究的介绍及附录，森部丰对“粟特系突厥”在安史之乱中的作用（可与森安孝夫回纥人在安史之乱中的作用相对读），石附玲对回纥立国前回纥人在河西、河东及漠北突厥支配下的动向诸篇可稍加留意。

[ソグドからウイグルへ 下载链接1](#)

书评

[ソグドからウイグルへ 下载链接1](#)